

カメラ本体の背面に貼り付けてお使いください。

電源オン	→	撮影可能
ブザー	ビ	ビ
ランプ	ビ	ビ
撮影	→	撮影可能
ブザー	ビビ	ビ
ランプ	ビビ	ビ
電源オフ		
ブザー	ビビ	
電池が消耗しています		
ブザー	ビー・ビビ	
メモリがいっぱいです		
ブザー	ビービ・ビー・ビビ	

670-1423A

DIVERS 2000 SERIES CX-1 ID CARD

このカードは、CX-1のサポートを受ける上での重要なカードです。

ご使用のCX-1本体の底面に記載されている 8桁のSNナンバーとCX-1本体のディスクドア内に入っているドリーム ポイント バンクお申し込み番号を記載の上、大事に保管してください。

CX-1本体SNナンバー

	D		D				
--	---	--	---	--	--	--	--

ドリーム ポイント バンクお申し込み番号

--	--	--	--	--	--	--	--

ご著名

--	--	--	--	--	--	--	--

お知らせ

ドリームアイ取扱説明書・裏面の「電池を取り替える」
→「ポイント」1項目目に訂正があります。

<誤> 単4アルカリ乾電池2本で約300枚（連続撮影時）の撮影が可能です。

<正> 単4アルカリ乾電池2本で約100枚の撮影が可能です。
（連続撮影時に限りません。）

重要

「DIVERS 2000 SERIES CX-1 ID CARD」について

本製品に付属の「DIVERS 2000 SERIES CX-1 ID CARD」は、お客様のサポート等において非常に重要なものです。SN ナンバー（8桁の英数字でCX-1 本体底面の入出力パネルの近くにシールで記載されています。）とドリームポイントバンクお申し込み番号(12桁の数字で付属の DreamPointBank 申込書に記載されています。)をこのカードに記載して大事に保管してください。

ドリームポイントバンク申込書は、カードへの記載が終わった後で、「ドリームポイントバンク事務局」にお送りください。

DIVERS 2000 SERIES CX-1 のご利用について

DIVERS 2000 SERIES CX-1 取扱説明書に書かれていない情報です。

ご利用の前にお読みください。

■ 安全のために（表紙）

「「取扱説明書」および付属の「安全のために」をよくお読みのうえ」となっていますが、「「取扱説明書」をよくお読みのうえ」が正しい表記です。安全上の注意は、DIVERS 2000 SERIES CX-1 取扱説明書の1・2ページに記載されております。

■ セットの内容（表紙）

「ドリームアイ・コントローラー」となっていますが、「ドリームアイ/リモコン/コントローラー」が正しい表記です。

■ CX-1 エンジン(6・8・19 ページ)

「CX エンジン」となっていますが、「CX-1 エンジン」が正しい表記です。

■ アンテナ線をつなぐには(13 ページ)

「アンテナをつなぐには接続の際は」となっていますが「アンテナを接続の際は」が正しい表記です。

■ メニュー画面の使い方(14 ページ)

「メニューボタンを押すことで」となっていますが「MENU ボタンを押すことで」が正しい表記です。

■ ファインチャンネル設定(14 ページ)

「Function menu が表示されるまで押してください」となっていますが「Function メニューが表示されるまで押してください」が正しい表記です。

■ 音の調整をするには(16 ページ)

「あるいは合成されたモノラル音声となります。」となっていますが「あるいは合成されたモノラル音声となります。」が正しい表記です。

■ SELECT ボタンのつかいかた(20 ページ)

「CX-1 エンジンを起動したり、終了をすることができます。」となっていますが「CX-1 エンジンを起動したり、終了することができます。」が正しい表記です。

■ モジューラーケーブルについて(22 ページ)

「別売のドリームキャスト用モジューラー延長(HKT-8200 /10m)」となっていますが「別売のドリームキャスト用モジューラー延長ケーブル(HKT-8200 /10m)」が正しい表記です。

■ MIL CD で映像と音声を楽しむ(37 ページ)

「1 CX-1 オープンボタンを押して、ディスクドアを開けます」となっていますが「1 ディスクドアオープン部を押して、ディスクドアを開けます」が正しい表記です。

■ 修理ご依頼の手順(45 ページ)

「1.本体、付属品(コントローラー、ドリームアイ、キーボード、モジューラーコード)」となっていますが「1.本体、付属品(リモコン、コントローラー、ドリームアイ、キーボード、モジューラーケーブル)」が正しい表記です。

ビジュアルパークのご利用について

ビジュアルパーク取扱説明書に書かれていない情報です。
ご利用の前にお読みください。



■メモリーカードの使用ブロック数（4ページ）

「システムファイルの使用ブロック数12」、「システムファイルの使用ブロック数50〜」となっていますが、下側のアイコンは「セーブファイルの使用ブロック数50〜」が正しい表記です。

※セーブファイルの使用ブロック数＝メモリーカードにデータを保存する際、最低限必要なブロック数を表しています。

■ソフトウェアキーボードについて（11ページ）

● 数字のみのソフトウェアキーボード時

→Xボタン：使用しません。

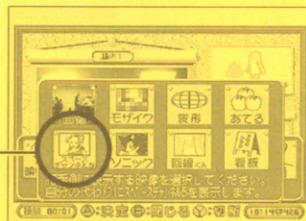
● 通常のソフトウェアキーボード時

→Bボタン：削除だけでなく、【変換／空白】時には一つ前の表示に戻ることができます。

■表示したい画像アイコン（16ページ）

「テレビ電話で話す」の1にあるアイコンの説明画面が間違っています。右の画面中で使用されている画像が正しいものです。

この画像が正しいものです



■履歴で表示できる人数（31・32ページ）

履歴の表示は、最大5人まで可能です。

■DreamPhotoFun使用中に、ドリームアイのメモリ使用量を確認する（46ページ）

DreamPhotoFun使用中、ドリームアイのメモリがどれくらい使われているかの目安をアイコンで確認できます。



←メモリに空きがある状態



メモリの残りが少ない状態→

■ミニゲームランキング

メッセージボード（35ページ）にある「ミニゲームランキング」を選ぶと、テレビ電話の待ち合わせ中に遊べる「ミニゲーム」のランキングを、登録したり見たりすることができます。

■メールボックスの容量

ビジュアルパークでセガプロバイダー（イサオネット）をご利用の方は、メールボックスの容量を通常の1MBから5MBに増やすことができます。

詳しくは、本ソフトの公式WEBページ <http://dreameye.dricas.ne.jp/> をご覧ください！

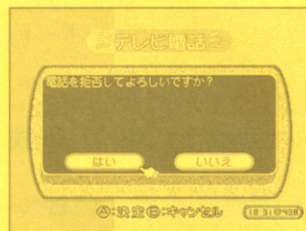
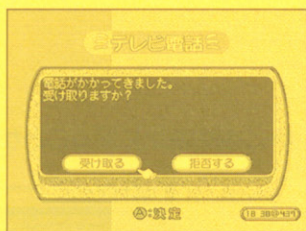
<ただし、ドリームフライヤーをご購入頂き、すでにメールボックスの容量を5MBに変更された方は対象外となります。ご了承ください。>

■ダイレクト接続時

かかってきた電話を受け取るか、拒否するかを選ぶように設定できます。

- 1、「むずかしい設定 (54ページ)」中の「自動受信」を「なし」に設定します。(初期設定＝「なし」)
- 2、電話がかかってくると「電話がかかってきました。受け取りますか?」と表示されます。

- 受け取る：電話を受け取り、相手がビジュアルパークから電話を接続している場合は、テレビ電話が始まります。
- 拒否する：「電話を拒否してよろしいですか?」と表示されます。
「はい」でトップメニューへ、「いいえ」で前の画面に戻ります。



■インターネット接続時・・・メールアドレスにご注意ください!

インターネットを通してテレビ電話をする場合、相手が利用しているプロバイダーによって、入力するメールアドレスを変更する必要があります。

- 相手がセガプロバイダー（イサオネット）を利用している場合
→相手のセガメールアドレス（xxxx@????.dricas.com）を正しく入力してください。
- 相手がユーザープロバイダーを利用している場合
→相手がユーザープロバイダーで使用しているアドレスを正しく入力してください。

■ユーザープロバイダー利用時に、テレビ電話がつかない場合

ユーザープロバイダーを利用してテレビ電話の接続を行う場合、プロバイダーの環境により、テレビ電話がつかない場合があります。テレビ電話がうまくつかない場合は、次の3つの質問をご利用のプロバイダーまでお問い合わせください。質問の結果、1つでも×があった場合は、ユーザープロバイダーを通してのテレビ電話はできません。セガプロバイダー（イサオネット）をご利用ください。

- 質問1「インターネット接続時にUDP通信が利用できますか?」
→プロバイダーからの返答「利用できる」： テレビ電話の利用＝○
→プロバイダーからの返答「利用できない」： テレビ電話の利用＝×
- 質問2「UDPパケットは規制されていますか?」
→プロバイダーからの返答「規制はありません」： テレビ電話の利用＝○
→プロバイダーからの返答「規制されています」： テレビ電話の利用＝×
- 質問3「インターネット接続時にゲートウェイでアドレス変換が行われていますか?」
→プロバイダーからの返答「行われていません」： テレビ電話の利用＝○
→プロバイダーからの返答「行われています」： テレビ電話の利用＝×